



萌木 4月号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和3年4月13日発行

校長 山田 勝

日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

4月より、調布市立第七中学校校長に着任いたしました山田勝と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

野川沿いの桜は、今年も見事に咲きました。桜を愛する心は我々この地で過ごす人にとって共通の心情です。例年のようなライトアップもなく、このような制限のある状況下でしたが、多くの人が立ち止まり桜を愛でていました。今を精一杯咲き誇る桜のその姿勢に私たちは引き付けられるのかもしれませんが、桜のこの姿から、私たちも、今を精一杯生きていこうと前向きな気持ちをもらえていると感じます。

4月6日火曜日、令和3年度1学期始業式が行われました。それぞれ進級した2,3年生が少し成長した表情で登校してきました。始業式では、3年生に向けて進路選択は避けて通れない課題ですが、自分の将来から目をそらさず、自分の未来を切り開くため、自分ならではの進路を自分で決めて、自分のために取り組んでいこう、ということをお話しました。また2年生には、自分の活動範囲を広げ、自分の可能性を見つけられるよう新しいことにチャレンジすることをためらわないで、自分を成長させる労をおしまないように、ということをお話しました。

2年生も3年生も顔を見てしっかり聞いてくれていました。

163名の新入生を迎えました。

4月7日水曜日は入学式で159名、翌日のはしうち教室入学を祝う会で4名、合わせて163名の新入生を迎えました。新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、2,3年生は代表のみの参加でしたが、保護者の皆様と新入生を迎える温かい式を執り行うことができました。

【式辞抜粋】

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

春一番のこのよき日に人生の新しいスタートを切った皆さんは、中学校の制服に身を包み新しい生活に胸を躍らせていることでしょう。

今年も野川の桜は立派な花を咲かせてくれました。菜の花の黄色、水面や空の青にも負けず一面を桜色に染めて、私たちの心を明るく穏やかなものにしてくれました。私たちは桜の花を見ることで春の訪れを感じ、新たな生活のスタートに向けて頑張ろうと、スイッチを入れるきっかけとしています。その桜は、花が咲くのは2週間ほど、その2週間に向けて、他の350日は人が見ていなくても葉や根を伸ばし次の出番まで頑張って準備し、自分を育てています。

春の始まりの今この時に、桜の精一杯頑張って咲き誇る、それまでの準備や努力をみせず今できることを頑張っているその姿勢に私たちは惹かれているのかもしれませんが、私たちにも精一杯生きていこうと思わせてくれているのではないのでしょうか。

中学校の生活は、学習・数々の行事・部活動と日々大変忙しく、ともすると三年間はあっという間に過ぎていきます。ぜひ何事にも目的意識を持って取り組んでください。

新入生の皆さんは、何に取り組み、何を頑張り、どのように成長していきたいと考えていますか。

あなたが、成長したい自分を見つけ、実現に向けて頑張るために力をつけていくことに、七中は、七中の先生たちは一生懸命手助けし応援します。

しかし、自分の成長のための一歩は、自分の力で踏みしめなければなりません。その力、学ぶ力、ともに進む力、生きる力をバランスよく七中で身につけてください。

第七中学校での3年間、皆さんが何事にも全力で取り組んで、たくましく成長していく姿を見守ります。

今、世界は困難な時期です。少し我慢をしなければならぬ事もありますが、明るく、希望を持って前進していきましょう。